

生活介護事業所「京都市若杉学園」再整備事業を実施する候補となる法人の選定について

京都市では、本年2月に策定した「若杉学園の今後の基本的な考え方」に基づき、若杉学園について、民設民営化の手法による再整備に取り組むため、同年3月に京都市障害者施策推進審議会に設置した、「京都市若杉学園再整備に関する事業実施法人選定分科会」（以下「選定分科会」という。）において審議を続けてきました。

この度、選定分科会での審議を踏まえ、本市において、再整備を実施する候補となる法人を下記のとおり選定しましたので、御報告します。

記

1 再整備事業実施候補法人

(1) 法人名

社会福祉法人京都ライフサポート協会

(2) 代表者名

理事長 樋口 幸雄

(3) 所在地

京都府木津川市山城町平尾横手43番地1

2 公募の概要

(1) 応募団体

ア 社会福祉法人 京都ライフサポート協会

イ 社会福祉法人 南山城学園

ウ 社会福祉法人 京都杉の木会

※ 他1法人から応募があったが、選定分科会における書類審査実施前に応募取下げ

(2) 選定の日程

平成26年3月6日（木）	第1回選定分科会（募集要項に係る委員からの意見聴取）
3月18日（火）	第2回選定分科会（募集要項及び評価基準に係る委員からの意見聴取）
3月26日（水）	公募開始（質問期間：～4月11日（金））
4月15日（火）	質問への回答
5月15日（木）	公募締切
6月19日（木）	第3回選定分科会（書類審査）
6月26日（木）	第4回選定分科会（プレゼンテーション審査及び委員による提案内容の点数評価）

(3) 選定分科会委員

（敬称略／五十音順）

氏名	役職名等
岡 千栄子	京都市総合支援学校PTA連絡協議会理事
加藤 博史	龍谷大学短期大学部教授
木下 修治	京都中小企業家同友会障害者問題委員会委員長
林 佳世	若杉学園利用者保護者
平田 和洋	京都市社会福祉協議会事務局長

3 選定の概況

(1) 提案内容の概要

ア ハード面

- (ア) 第1期整備として、現行の通称さくら児童公園の部分に生活介護棟を整備し、開設・移転・既存建物除却後、第2期整備として、駐車場及びグループホーム棟を整備する。
- (イ) 両施設とも、北側の住宅街の日照に配慮して、2階建ての低層建物とする。
- (ロ) 生活介護棟については、ロータリーを設け、送迎がスムーズに行えるようにする。また、各作業室に車椅子対応のトイレを設け、シャワーを併設する。
- (エ) グループホーム棟については、1階と2階に別々に入口を設け、内部で行き来できないようにし、各階にリビング、トイレ、浴室等を設置する。また、短期入所の個室を併設する。

イ ソフト面

- (ア) 現在1台のバスで巡回している送迎サービスについては、複数車両を使用し、利用者宅の玄関から施設入口までの送迎を行うことを計画している。
- (イ) 生活介護棟では、付加サービス機能として、施設給食の調理補助等の就労継続支援A型事業を行うとともに、地域への貢献としてひとり暮らしの高齢者等に対する配食サービスを行うこととしている。

※ 現状と提案内容の比較

○ 面積の比較

	現状	提案内容
生活介護棟	1階建て、延床面積1,099㎡	2階建て、延床面積1,098㎡
グループホーム棟		2階建て、延床面積377㎡
グラウンド	1,499㎡	1,000㎡

○ 定員の比較

	現状	提案内容
生活介護棟	生活介護 55名	生活介護 55名 就労継続A型 10名
グループホーム棟		グループホーム 10名 短期入所 4名

○ 利用者に対する支援員の割合の比較

	現状	提案内容
生活介護	通所者44名に対し、支援員14名 (3.14:1)	通所者50名に対し、支援員20名を 計画(2.5:1)

4 今後のスケジュール (予定)

平成27年2月	京都市若杉学園条例廃止案及び整備に係る予算案を市会に提案
平成27年10月～	引継(平成29年3月まで)
平成27年度	設計・整備(生活介護棟)
平成28年4月	開設(生活介護棟), 業務移管
平成28年度	設計・整備(グループホーム棟)
平成29年度	開設(グループホーム棟)